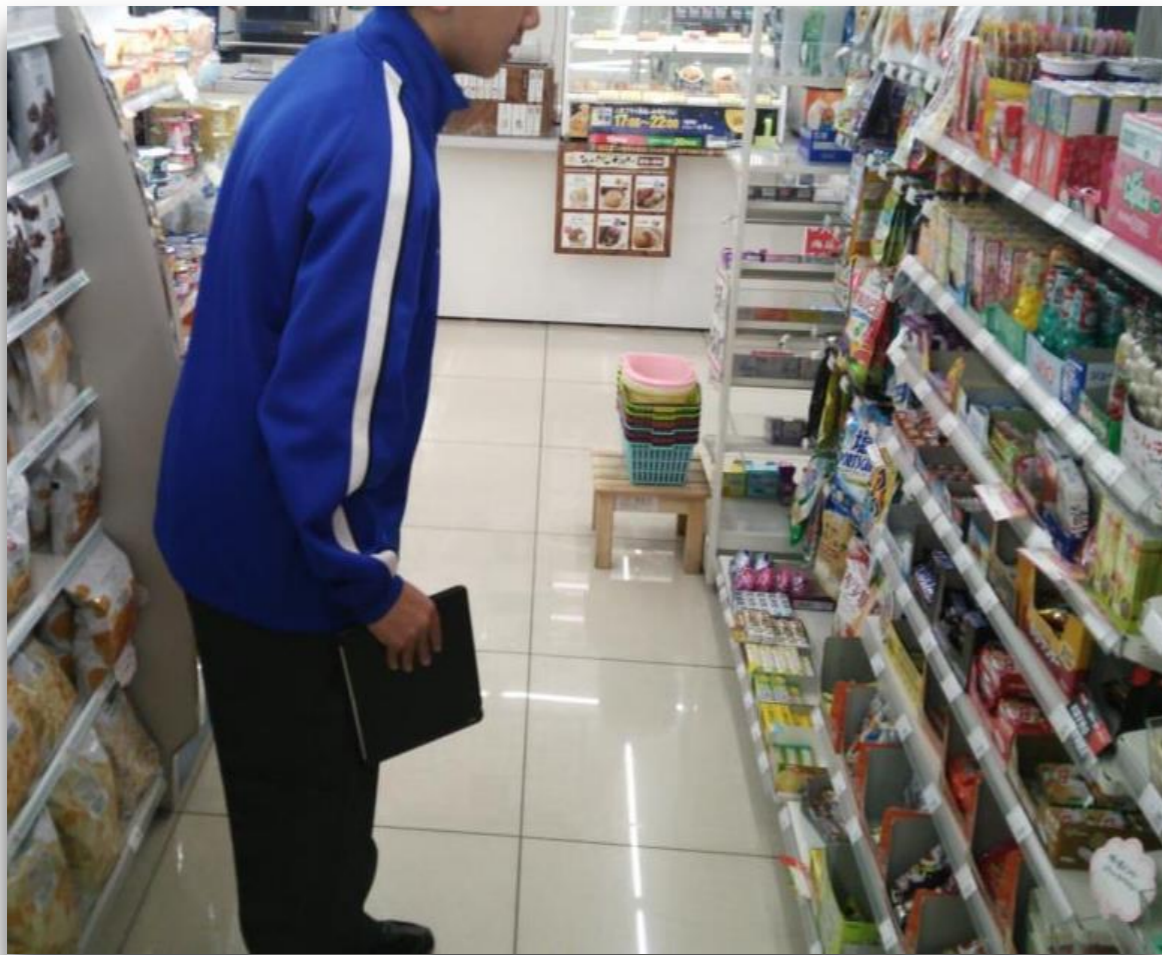
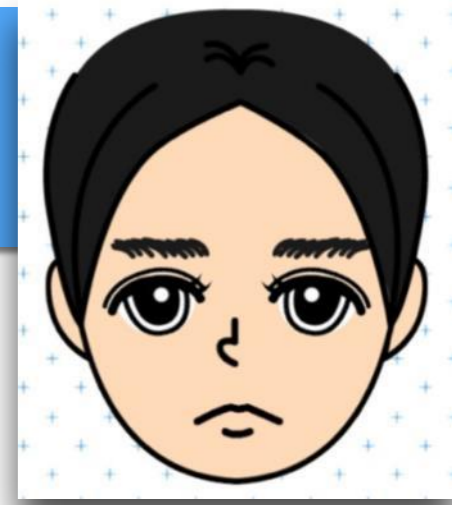


# 緊急性の高い生徒に無理なく生活に即した活用を進める取り組み



大分県立大分支援学校 岡本 崇

# Aくんの実態

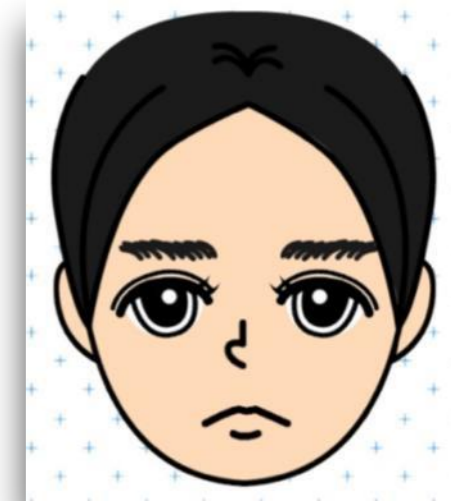


- 中学部1年生 男子 知的障がい
- 家庭での生活リズムが確立できておらず、  
体調不良で頻繁に欠席する
- 教室内でできるようになってきていることでも、  
実際の場面で活用することは難しい
- 乳製品の食物アレルギーがあるが、意識は  
できていない

☆教室内でできるようになっていることでも、  
実際の場面で活用することは難しい背景

- ・校内の学習では、金銭の扱い(等価関係など)や買い物の手順などは理解できている
- ・公共交通機関の利用、買い物など、社会生活上必要な力が身につけていない(実体験の不足)
- ・自力での移動は自宅100m圏内で5分程度まで  
(「外はこわい」と言う)

なるべく早く身につけ、定着する必要性



## 買い物

- ・母親の体調が悪い時に手助けになる
- ・緊急時の食料確保ができる

## 自力移動

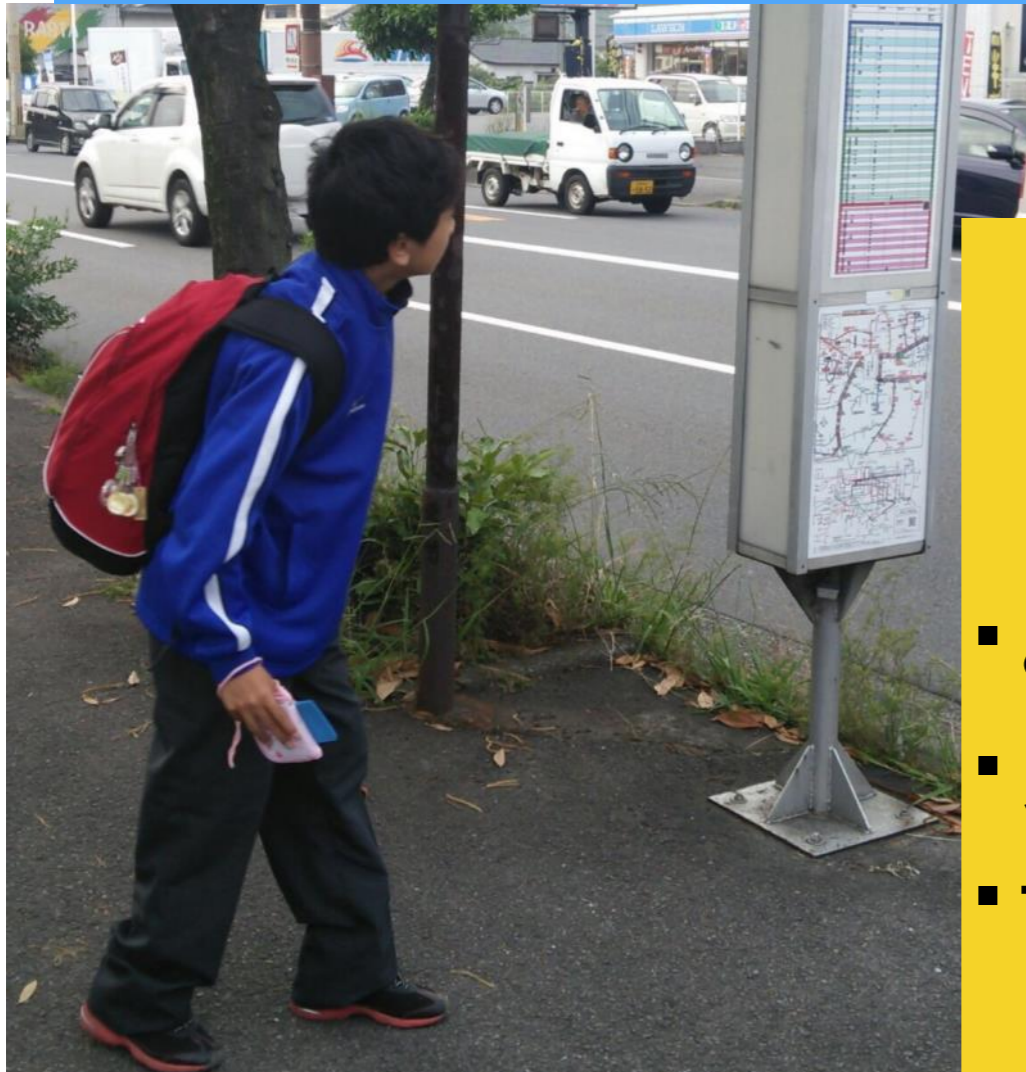
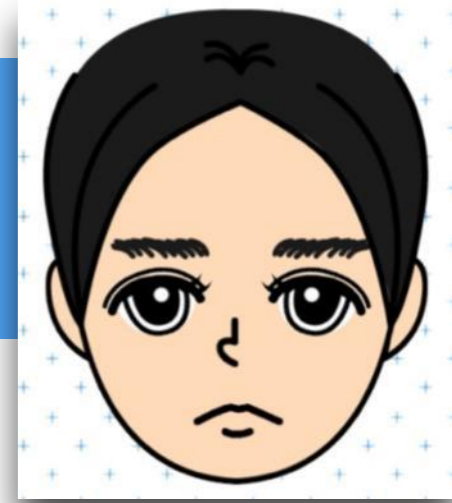
- ・移動手段の確保、行動範囲の拡大
- ・登校回数の増加の可能性

これができれば  
なんとかなる

## 自律的な生活

- ・生活習慣の確立
- ・登校回数の増加の可能性

# 使用機器の選定



## Aくんの場合

- より持ち歩きのハードルを低く
- 緊急連絡ツールとして
- 母親はすぐにでも買い与えたい



iPhone

## 【実践の前に】

教師の「手の出し過ぎ」にならないために

「自分で行う部分」と「教師が提供する部分」の切り分け  
→将来的な見通しから決定

「自分で行う」部分は自分で

- ・実際の買い物、移動などの行動
- ・メモする、その活用



「システムの活用」部分は教師が

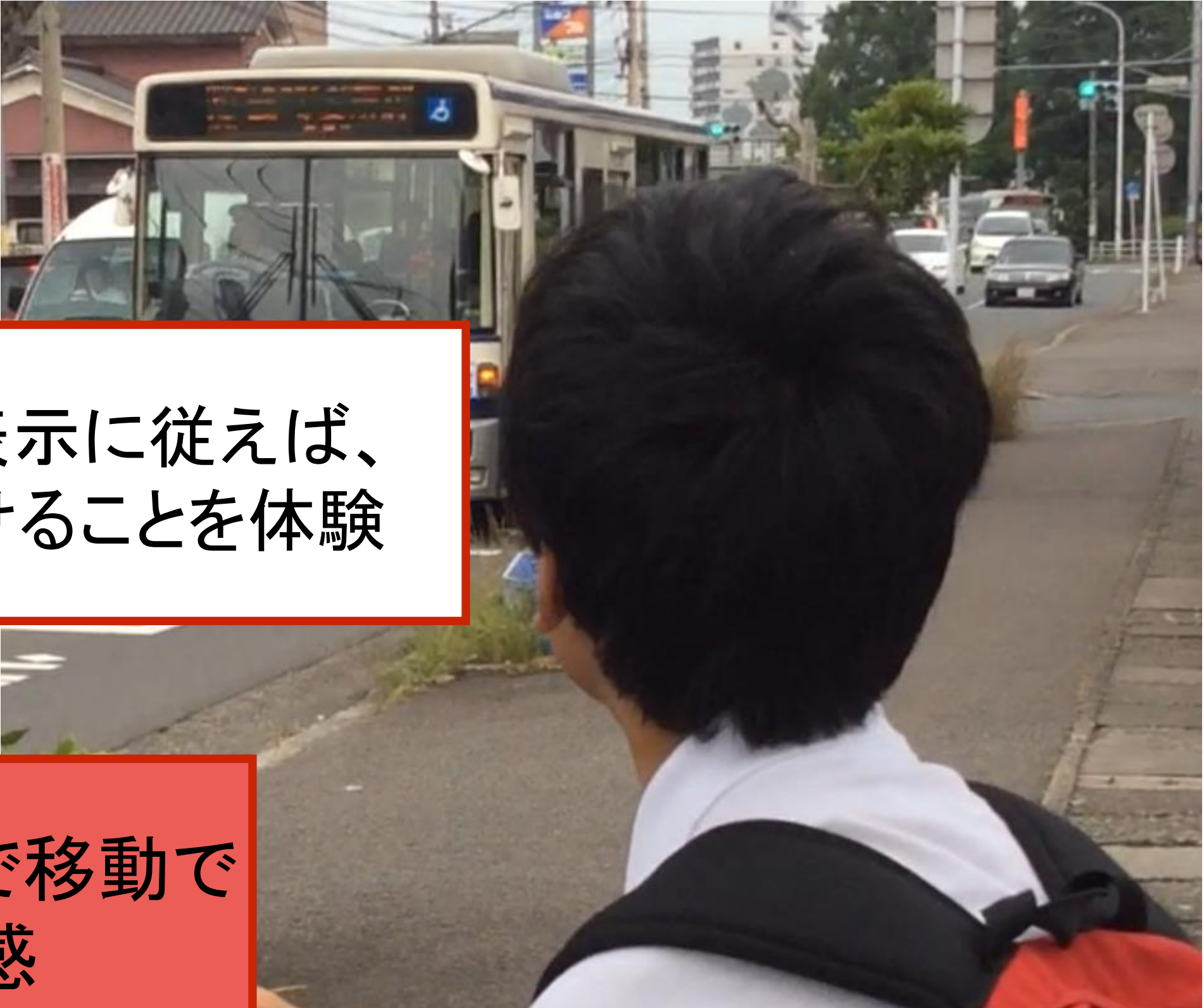
- ・電子マニュアルの活用
- ・Web上の情報の活用

# ①移動手段の確保：バスの乗り方を身につける



まずはシミュレーションで  
ハードルを下げる

# 「たとえ乗り遅れてもバスに乗れる」を理解



行き先表示に従えば、  
必ず行けることを体験

自分の意思で移動できることを実感





## ② 買い物の定着：一人で欲しいものを買えるように



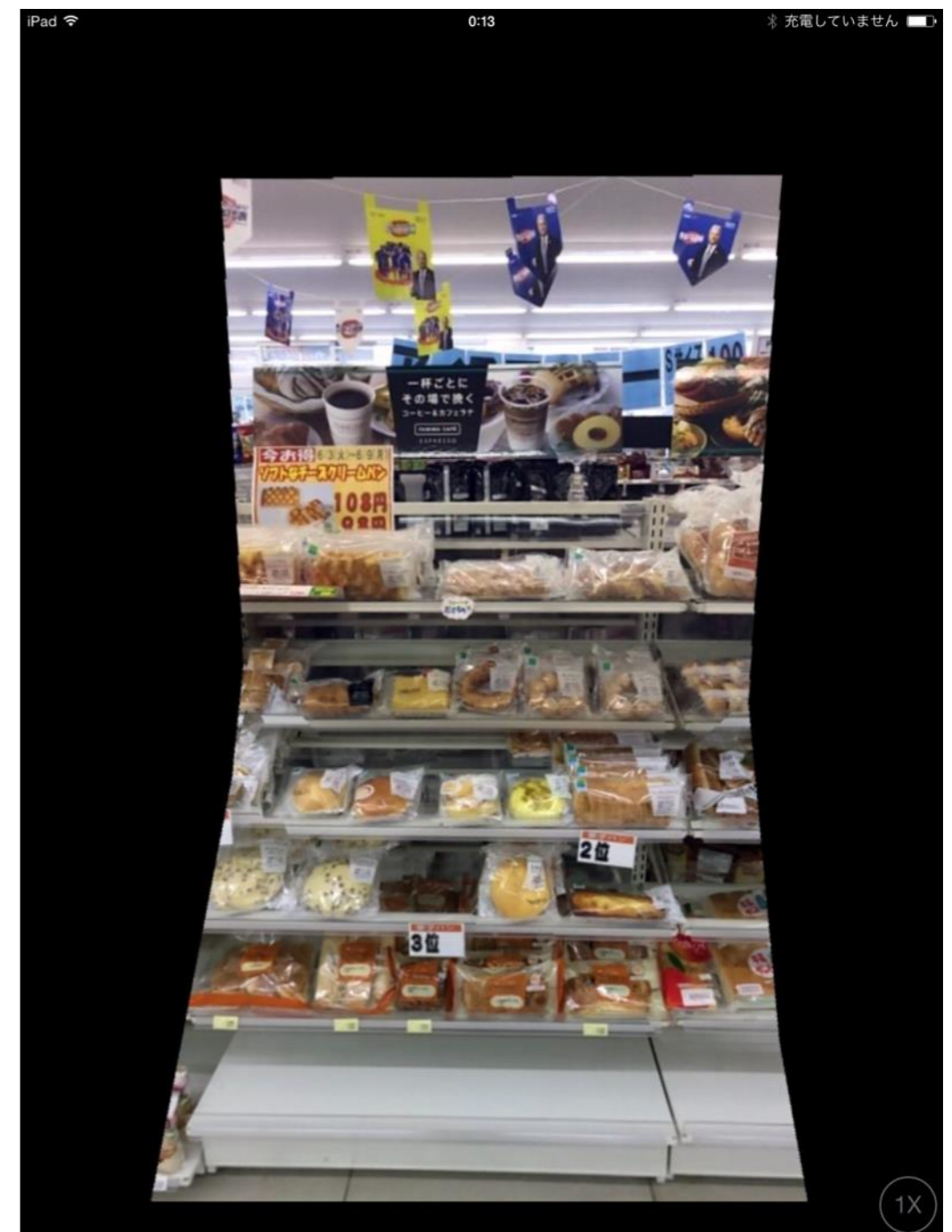
この範囲しか見ていない

# Google mapのように全体を見渡せるアプリ で練習



Photo synth

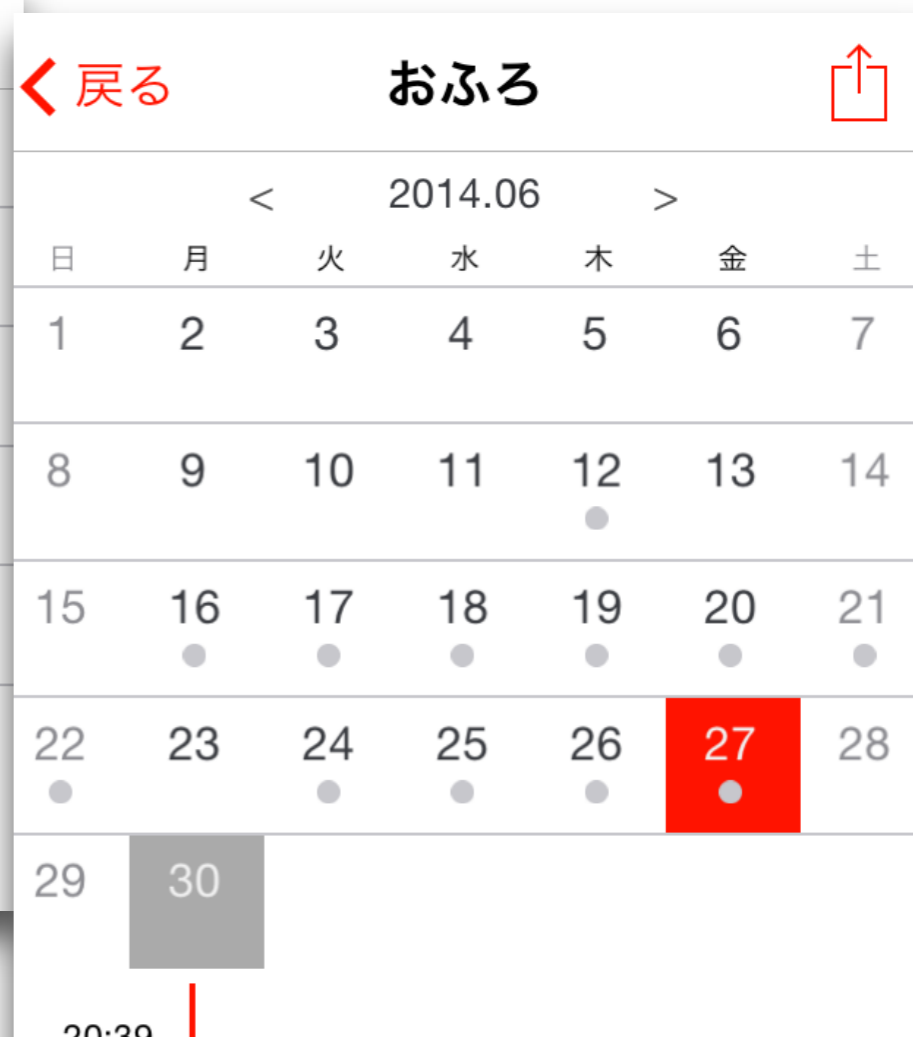
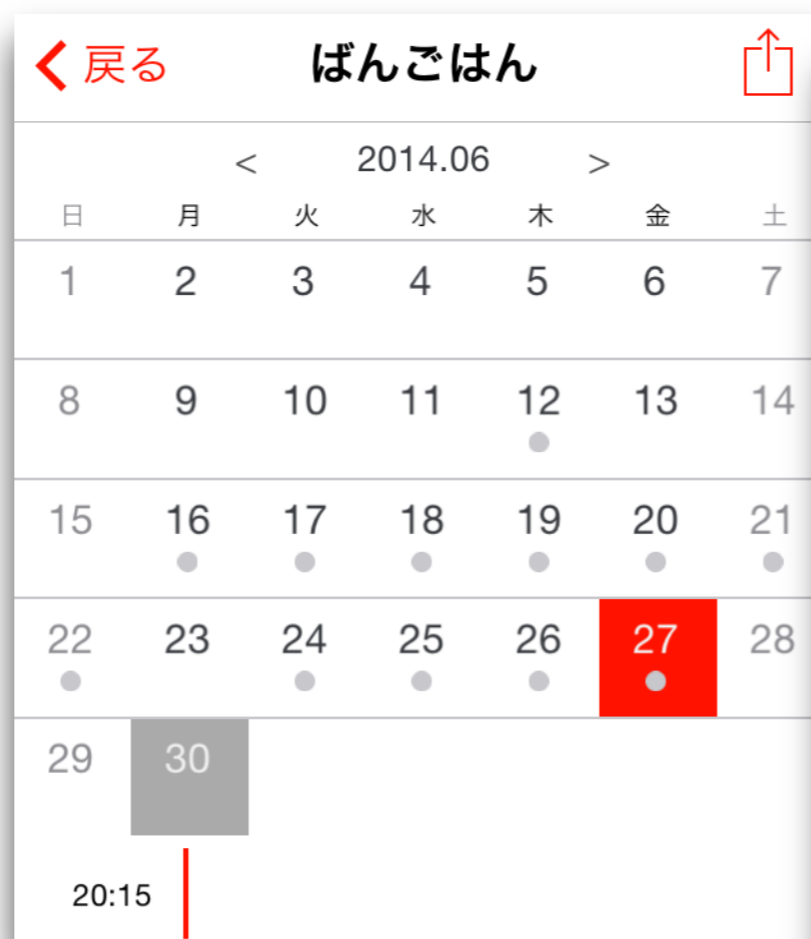
iPhone内にコンビニの棚  
を再現



# ③生活習慣の確立：時間の管理と意識づけ



TimeStamp+



タップするだけでログを取れる  
(かんたん、活動の開始を意識)

就寝時刻と起床時刻(体調)の因果関係を理解

# ④アレルギーの対応： アレルゲン物質を「食べない」指導



アレルギーチェッカー

日々の生活では、まずは  
危険なものを食べない  
(買わない)ことが大切



# 「いつでも」「ずっと」使えるように： 動画メモと動画マニュアル



My Photo HD

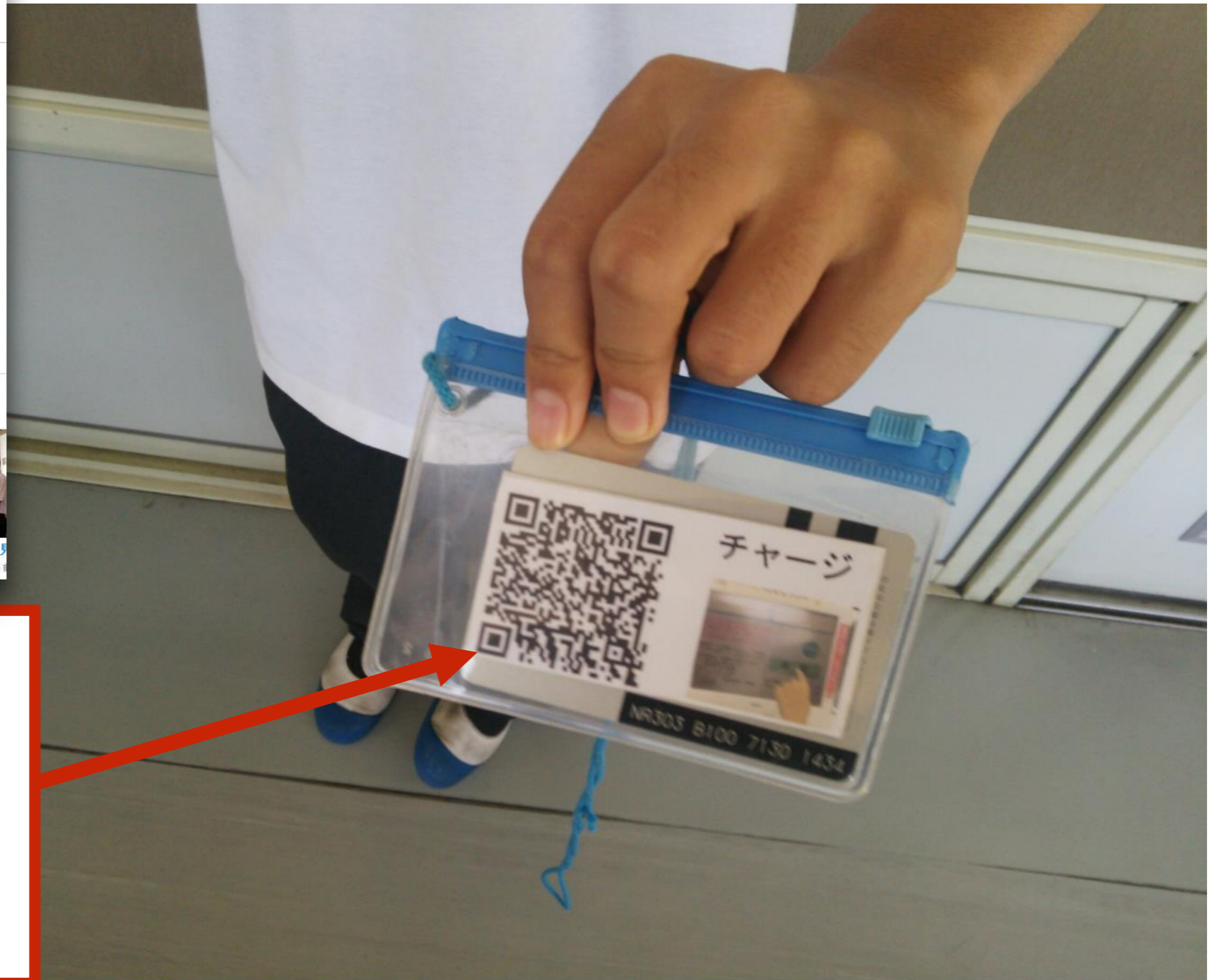
自分なりの「メモ」として  
活用  
↓  
必要に応じて撮影、  
すぐに見返す





撮影した写真・動画を自分の必要感からフォルダに分ける

# 仕方が難しい・機会が少ない場合は動画で



本人だけに  
限定公開  
(今後につなげる)

教師がYouTubeチャンネルでQRコード化  
→必要に応じて見返して活用



# Aくんの動画(画像)コンテンツの使い分け



## 「主観的」視点

- 本人の視点(主観的視点)で撮影
- 本人が撮影、アプリで管理する
- メモ(備忘録)の役割

## 「客観的」視点

- 他人の視点(客観的視点)で撮影
- 教師が撮影、ネットで視聴する
- 教材としての役割(必要に応じて)

それぞれの役割で使い分ける

# 信頼できる友だち関係の形成： 自然な関わりから、信頼を学ぶ



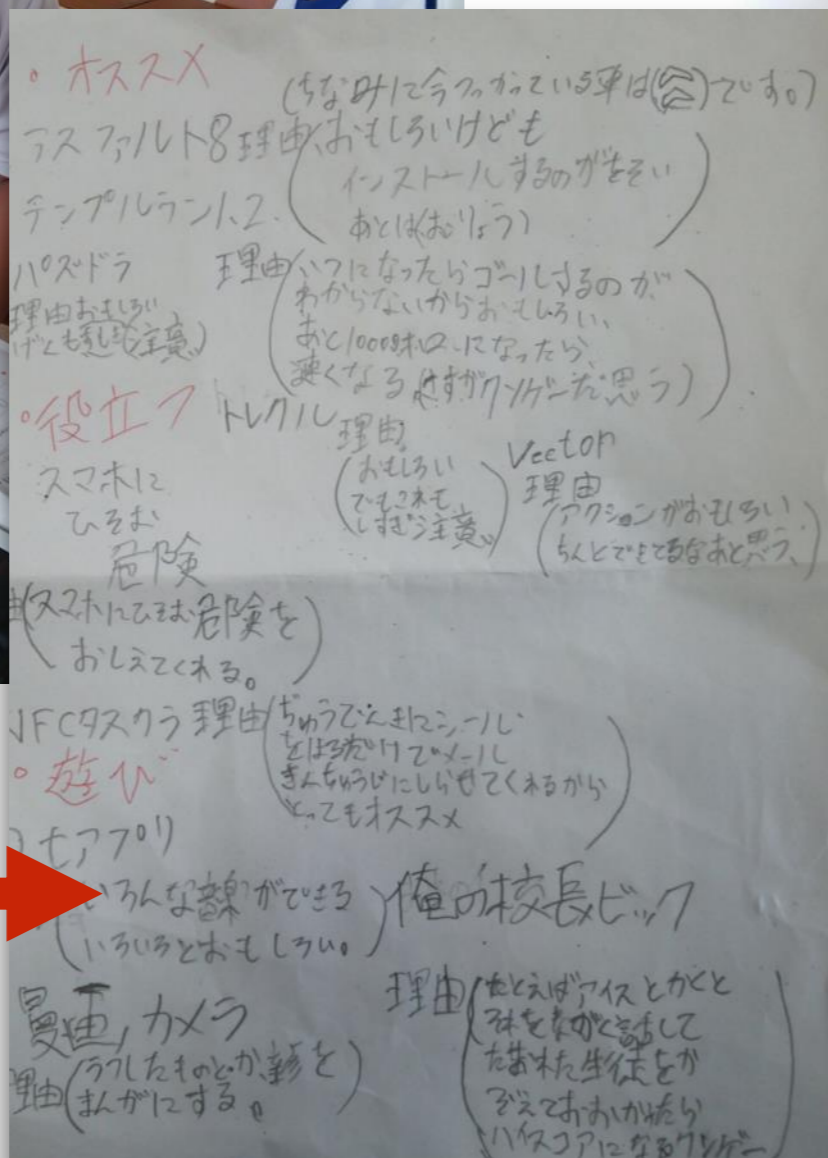
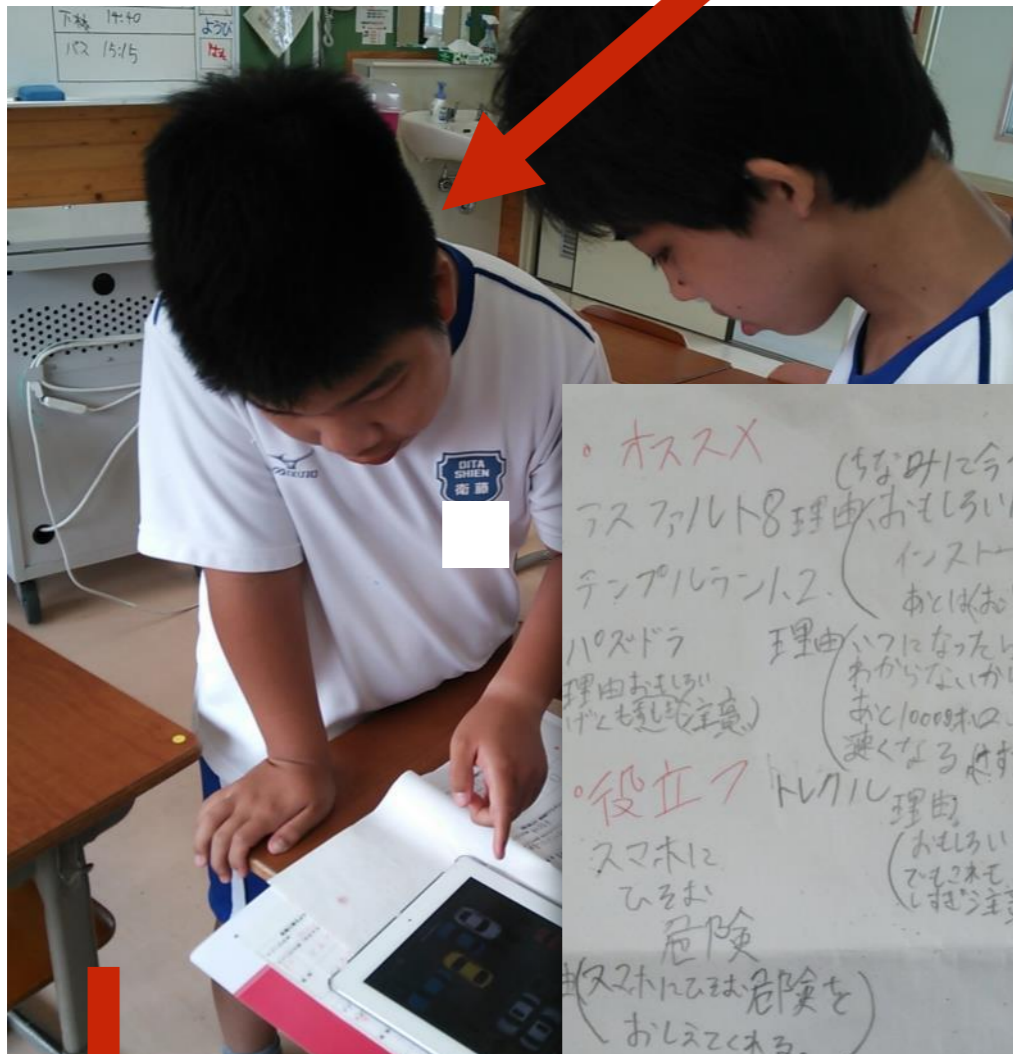
## 登校の仕方から スマホの使い方へ



同じ路線バスのE先輩が進んで教えてくれる



# E先輩は以前友だちに教わっていた



友だちのレビューを真似た『おすすめリスト』を作って教えてくれた

教えと関わりの連鎖、コミュニティの形成

# 現在の到達状況



## 買い物

- ・母親に促されて買い物に行くようになった
- ・買い物とチャージでそれぞれの店を変える

## 自力移動

- ・毎日、ほぼ問題なくバス通学
- ・E先輩がいない時も一人で乗車・下車

## 自律的な生活

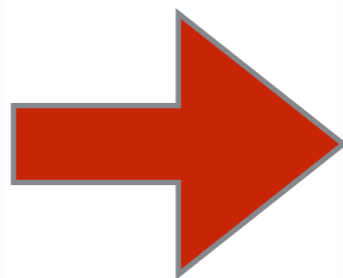
- ・出席率の増加(他の要因での欠席はある)
- ・夏休み後の生活習慣の安定化が課題

# その他の変化:「書く」ことへの意識の変遷

書くのはいやだな…

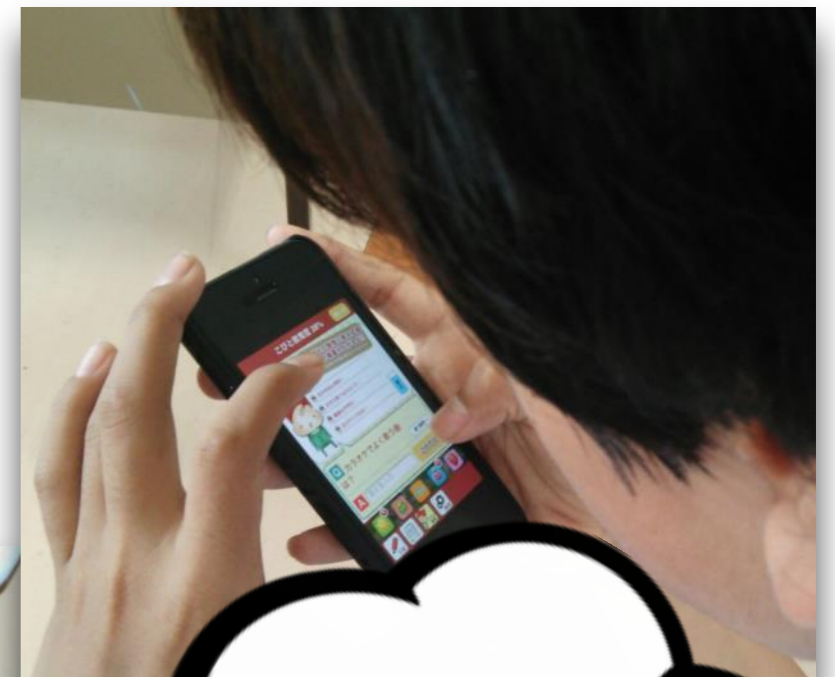


入学当初



1学期の学習を通じて

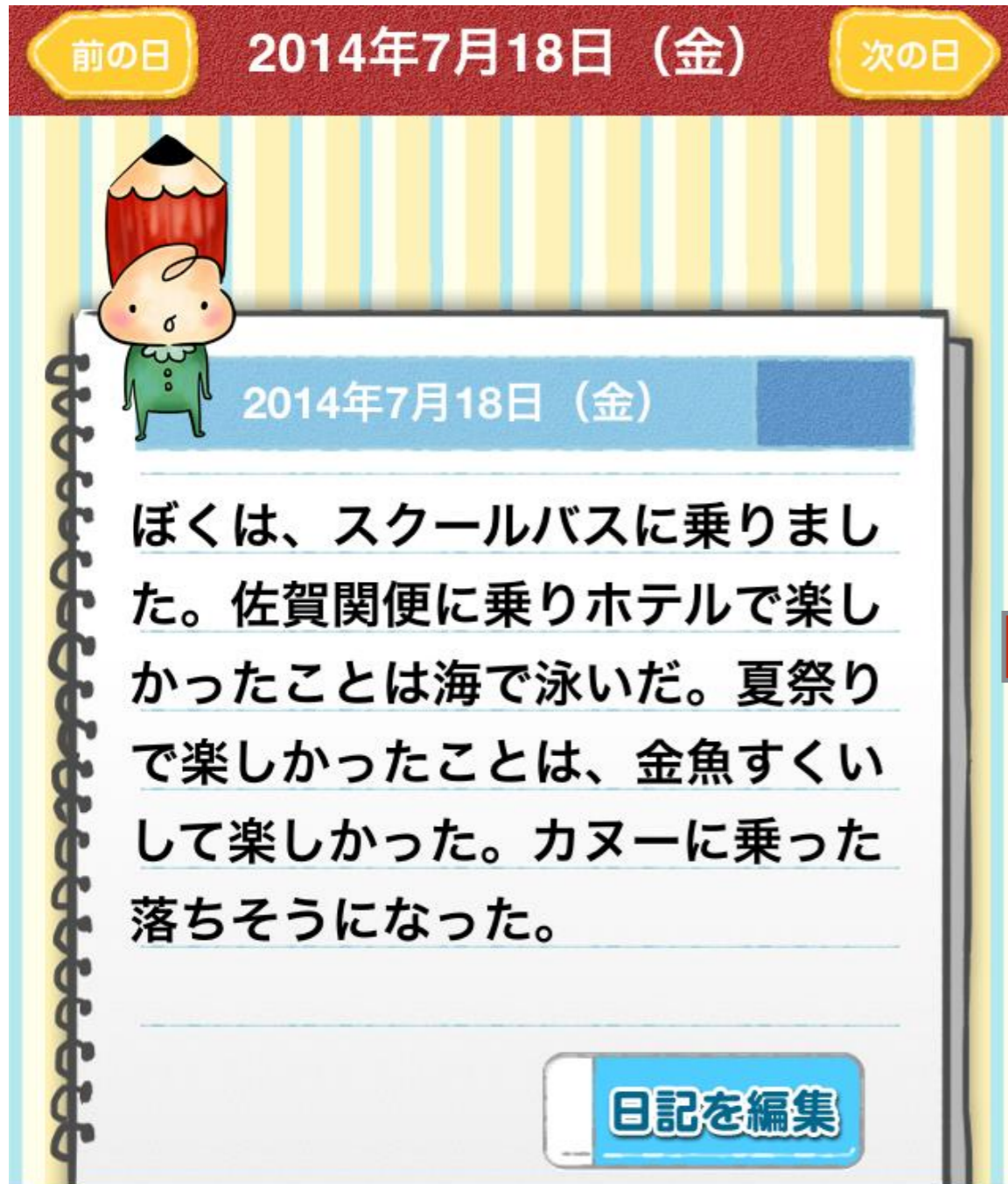
これなら  
書ける!



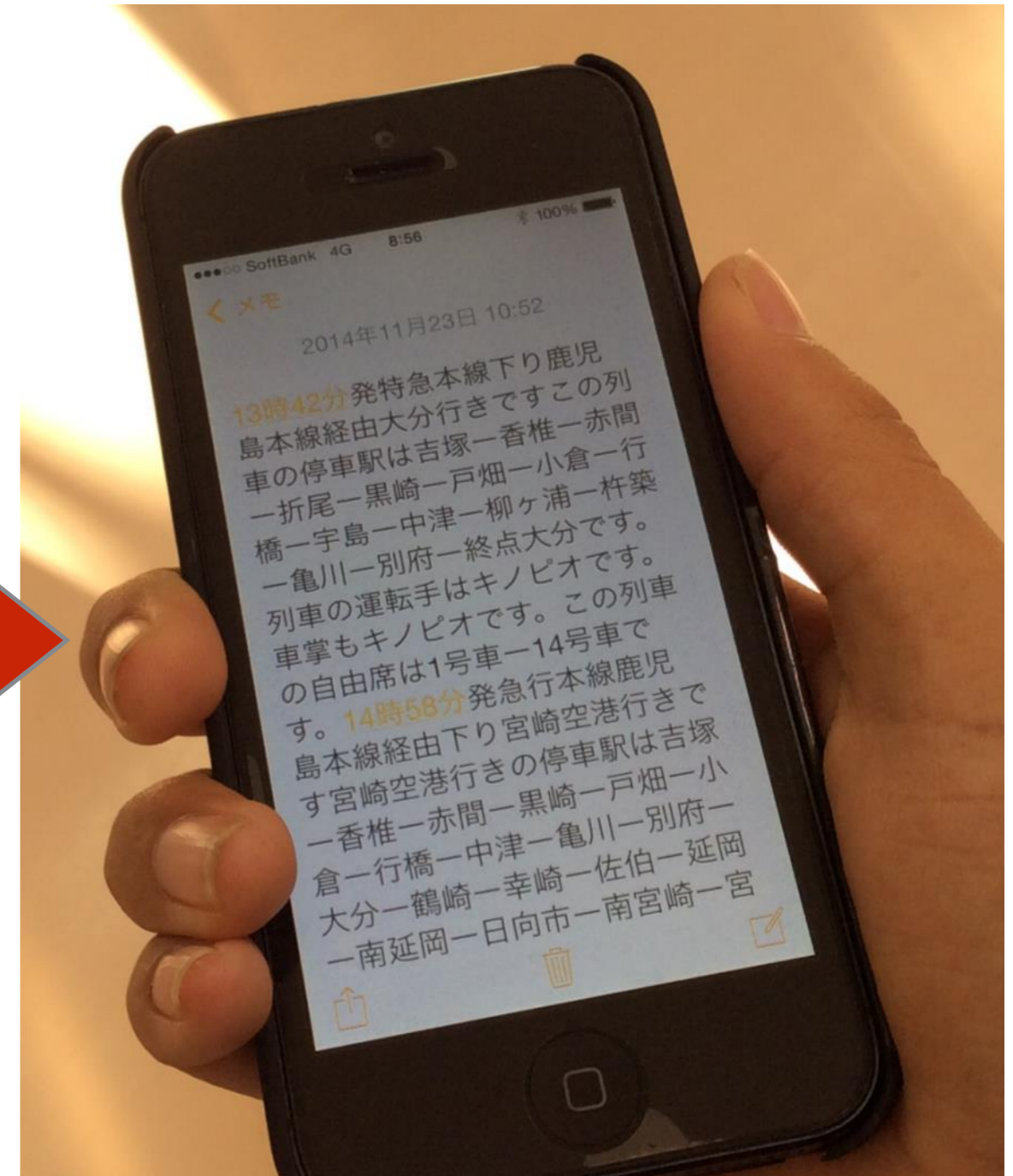
※はじめは「書く」ことへの抵抗感(これまでの経験から)があったが、iPadなら表現できるようになった

# 「書く」ことへの意識の変遷

7月(「こびと日記」利用)



11月(「メモ」利用)



※特別なアプリで興味を引かなくても、書くこと自体が楽しみ

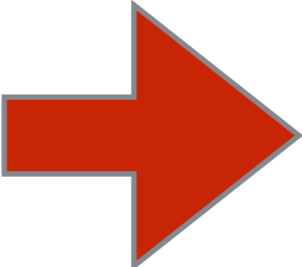
# その他の変化:「書く」ことへの意識の変遷

9月初旬(30文字程度)

9月11日 木曜日  
たいいいくがんで  
はっしりしました。  
たいそうきました。  
10分かん

11月初旬(250文字程度)

志村祭の思い出  
中一全  
ぼくはステージ発表でよかった。ウオツチ  
をしました。ゲラゲラポーをしました。さ  
いごにダンダンドウビズバーをしました。とて  
も楽しかったです。チヤレンジステージであ  
たりまえたいそうをしました。そうまくんと  
じヤトきんとかずきんとかりました。み  
んながあらった。こくねました。レオキョクでとら  
いようしました。とんびとうじようしました。  
さよくがおあたらおどるいヤンびをしました。  
あたりまえたいそうをしてみんなをあらあか  
せしました。たいじようはにゲダンスをして  
たいじようしました。



書いてみよう



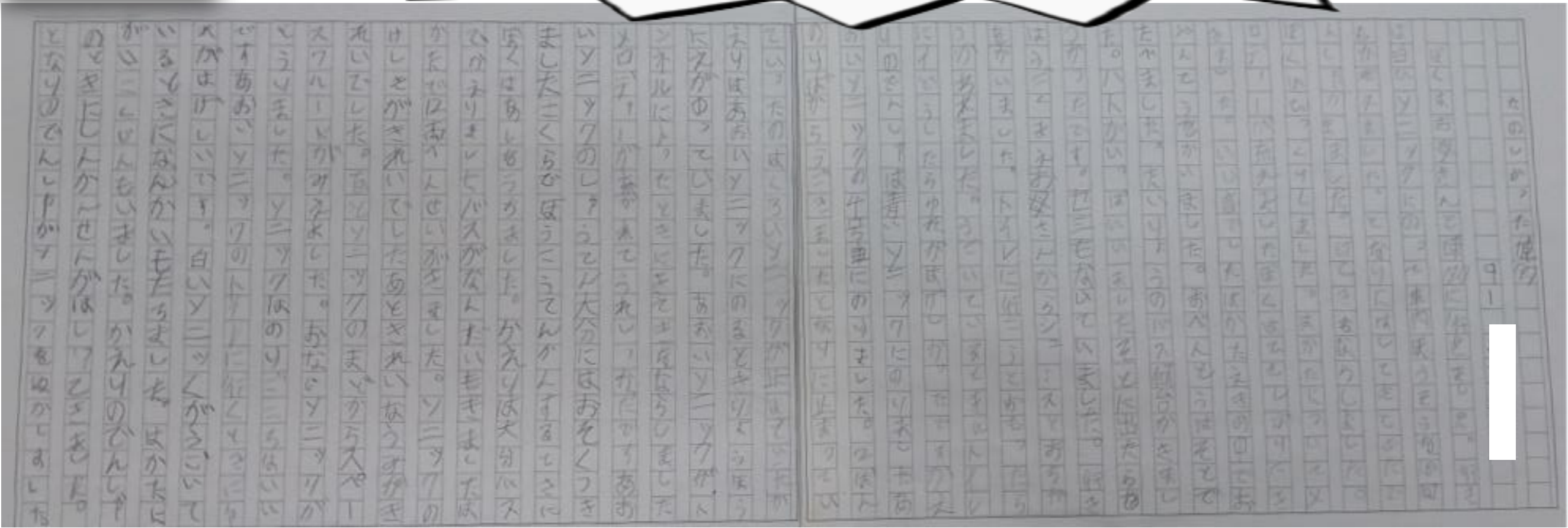
※iPadで抵抗感が薄れ、自ら手書きをする

# その他の変化:「書く」ことへの意識の変遷

12月中旬(800文字程度)



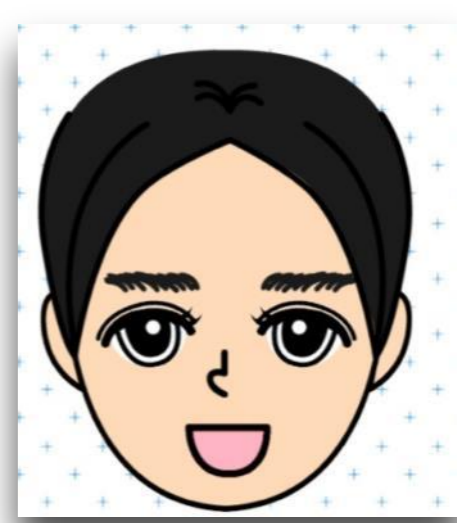
旅行に行ったので日記を書いてきました！



※短期間で変化したのは「彼が本来持つ力」だから  
→適切に機会が与えられることで発揮できることがあるはず



# 今後の方向性



## 買い物・自力移動について

- ・引越しによって変化した通学方法への対応
- ・買い物できる店舗や乗車できる路線を増やす
- ・現時点では動画の撮影許可は教師が行なっている。  
本人が(周囲に不審がられず)行える手段の確保

## 自律的な生活の確立

- ・より実際に即した活用の工夫・整理
- ・緊急時の依存先の増加を図る
- ・関係諸機関との連携(実施中)